

関西広域連合構成府県・市政記者クラブ配布

資料提供			
月日	発表者	問合せ先	
		電話番号	担当者
平成25年11月29日（金） 午前11時	関西広域連合本部事務局企画課	06-4803-5587	亀澤・蟻芝

関西広域連合設立3周年を迎えて

関西広域連合が平成25年12月1日で設立3周年を迎えるにあたり、別添のとおり関西広域連合長のコメントを発表します。

なお、参考として関西広域連合3年間の主な取組をまとめた資料を添付いたします。

関西広域連合設立3周年を迎えて

関西広域連合の設立から3年を迎えました。

平成22年12月に、関西の復権と創造をめざし、「地方分権改革の実現」「関西における広域行政の展開」「国と地方の二重行政の解消」を掲げて設立され、2年目に府県とほぼ同等の権限を持った4政令市も加わりました。

この間、広域防災など7つの広域事務を進め、東日本大震災の際のカウンターパート方式による被災地支援や、複数機によるドクターヘリ運航体制の構築など、着実に成果をあげています。

また、新たな広域課題への対応として、関西全体の広域インフラ整備の基本方向や中長期のエネルギー戦略の検討、国家戦略特区の提案など、個別の利害を超えて、積極的、機動的に取り組んでいます。

今年は、生涯スポーツの国際総合競技大会であるワールドマスターズゲームズの2021年関西招致に取り組み、アジア初のワールドマスターズゲームズ開催に向け、大きな一歩を踏み出しました。

市町村や経済界との意見交換会を定期的に開催し、相互の理解と連携を深めていくことにも取り組んでいます。

広域連合設立のねらいの一つである国出先機関の移管については、残念ながら実現には至っていませんが、引き続き国に強く主張していくとともに、一部の事務・権限の移譲などできるところから取組を進めていきます。

このように、設立から3年の取組を通じて、全国で唯一の府県を越える広域連合としての存在感を示し得たのではないかと考えています。

来年度は、関西の目指すべき将来像と今後3年間の戦略を示した次期広域計画のスタートの年です。新しい広域計画のもと、これからも「成長する広域連合」として責任ある広域行政主体づくりに邁進します。

平成25年12月1日

関西広域連合長 井戸 敏三 （兵庫県知事）